

平成20年度 前期学校評価について（記述への回答）

1 授業・家庭学習について

- ・1年生とはいえ、行儀、授業を聞く態度については、もう少し厳しく。(1年)
- ・子どもに、学校は勉強をする所という考え方を自覚させてほしい。(1年)
- ・日記(作文)の宿題があればいい。(3年・4年)
- ・宿題が少ない。学力低下につながるのではないかと心配だ。(4年)

本年度本校では、「算数科」を窓口として授業の在り方を追究しています。その方向として、

- ・楽しく学ぶ、学び方を学ぶための授業を考える。
- ・個別化の時間を確保し、不得意とする児童に関わると同時に、進んだ児童をより高めるための手だてを考える。
- ・1時間の学習の定着を確認する方法を考える。
- ・家庭学習を含めた授業を考える。

などを明確にし、教員の指導力を高めながら子どもたちの学力向上に努めたいと思っています。

2 学校行事・体制について

- ・1年生30人は大変だ。(1年) 養護の先生がもう1人いてほしい。(4年)

人材の確保は一定の基準の中で決定されます。本年度の1年生は、わずかに児童数が規定に達せず、学びの先生がつかず、担任1人になってしまいました。養護の先生の確保もなかなか難しいようです。

- ・野外活動の時間が多い。(2年)
- ・校外行事への参加で、交通手段・行程が子どもに負担ではないか。(6年)

検討していきます。

- ・学芸会がないのは残念だ。(2年・3年・5年)

学芸会は「表現力」や「協同力」を主なねらいとして行います。それらは、普段の授業や運動会などでもねらいとして行っています。さらに、学習発表会を行います。どうぞご理解ください。

- ・学校行事等が変わるのでしんどい。今年は「水泳」が違う。(6年)
- ・運動会の日程が少し変わったのがよかった。(6年)

子どもの実態を考えながら、行事を考えていきます。水泳や運動会の時期を変えたのはそのためです。

3 安全・環境について

- ・コースごとにまとめて下校させてほしい。(1年)
- ・集団登校しないのはなぜ?(2年)

下校については、近くの人と一緒に、まとまって帰るよう声をかけています。登校については、家の都合や陸上の練習などの理由で、早く登校する児童も多く、今のところ集団登校は考えていません。近くの児童と一緒に、時間を合わせて登校させるなど、それぞれのおうちで工夫していただけたらと思います。

- ・靴箱が外に出て室内がきれいになった。安全性はどうか!?(2年・4年・6年)

中庭から、2年生の教室が見えなくなったのは事実です。しかし、ほこり・砂・雨のことを考えてあのようなになりました。ご了承ください。ただし、非常時の避難などについては問題ありません。

4 広報・連携について

- ・自由参観週間はいいアイデアだが、行かれる人が少ない。(1年)

今までは「学校開放週間」と呼んでいましたが、より学校に来ていただきやすくするため本年度から「自由参観週間」と改名しました。今後も、広報に努めたいと思います。

- ・学校の年間日程を早く知らせてほしい。(1年・3年・5年)

年度当初の「学校だより」にて、おおまかな1年間の行事予定はお知らせしております。参考にしてください。

5 その他

- ・校舎の耐震性について教えてほしい。(4年)

校舎全体の耐震性は、調査の結果、問題はありませんでした。しかし、体育館の耐震性に問題がありましたので、昨年度の末に補強工事を済ませました。

その他にも多くのご感想・ご意見をいただきました。誠にありがとうございました。文面だけのご意見ですので、意をくんだ十分な回答になっていないかもしれませんが、目の前の子どもたちのために改善すべきは改善し、やるべきことはやり通す、という姿勢で修学院教育を進めてまいりたいと考えています。

今後とも、ご支援・ご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

修学院小学校
校長 伊藤喜昌